



(上) 旧41部隊の兵舎を使った沼田東小学校と沼田中学校 (下) 東部第41部隊の創立記念式典の行事 (原爆・戦争遺跡パネル展)

「私の八月十五日」 「原爆・戦争遺跡」パネル展

とき 8月8日(火)～24日(木) 午前9時～午後5時 (土・日曜日、祝日を除く)
ところ テラス沼田4階インナーテラスおよび市民ロビー
観覧料 無料

被爆体験伝承講話

広島市が養成した伝承者が、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思いをお話します。
とき 8月15日(火) 午前10時30分～正午
ところ テラス沼田5階議場 (Waltzホール)
定員 100人(先着順)

昨年の「私の八月十五日」パネル展。感情が込められた朗読を聴きながら、当時の様子を思い描く



貴重な証言 戦争の記憶つなぐ

第二次世界大戦の終結から78年が経過しようとする中で、体験者のいない時代が刻一刻と近づき、同時に被爆や戦争の記憶も失われつつあります。被爆の実相や戦時下の暮らしを学べるパネル展や講話などを通じ、平和について考えてみませんか。

戦争の愚かさや平和の尊さを長く語り継ぐため、終戦の日の思い出をつづった文章や絵画を紹介する「私の八月十五日」パネル展が、8月8日(火)から開かれます。作家や漫画家など30人のパネルを展示。疎開先での暮らしや防空壕に駆け込んだ記憶など、それぞれの戦争の経験を伝えています。音声再生機器「音筆」により、寄稿者の肉声も聞くことができます。

「8・15朗読・収録プロジェクト」実行委員会の協力で今年で4回目。参加者からは「展示を通して、戦争の悲惨さを少しでも次の世代に伝えていければ」といった感想を受けています。原爆で破壊された広島・長崎のまじりの様子や被害の惨状、市に残る戦争遺跡などを展示した「原爆・戦争遺跡パネル展」も同時開催。8月15日(火)には、被爆体験伝承者が被爆者の体験や思いなどを語る被爆体験伝承講話も予定されています。



2019年に市役所で行われた被爆体験記朗読ボランティアによる朗読会の様子

平和を願い被爆樹木を植樹

平和と繁栄を願うため、市は2020年4月の利南運動公園オープンに併せ、被爆に耐えて現在も生き続ける広島・長崎の被爆樹木2世の苗木を同園芝生多目的広場に植樹しました。平和のシンボルとして世界中に植樹されている「陽光桜」も、同園のウォーキングコースに沿って植えられています。春には残雪の山々を背景に美しい花を咲かせ、新たな桜の名所として期待されます。



濃いピンク色で一重咲きが特徴の陽光桜(左)／葉が多く付き成長するアオギリ(中央)とクスノキ(右・現在養生中)